



予餞会行われる

在校生が卒業する3年生への餞（はなむけ）の会、予餞会が行われました。3年生の高校生活最後の定期テストの翌日1月31日午後、2時間という制約された時間ですが、ゲーム大会では先生方のモニタージユ写真を完成させるクイズをしたり、カラオケ大会では生徒会と文化委員の実行委員メンバーが話題の「DJオズマ」の物まねをするなど、充実した内容となりました。■休憩時間には先生方からのお祝いメッセージビデオが流されましたが、席を立つ卒業生は一人もいませんでした。

浦幌高校日記

地元浦高の様子をお届けします



3年生を代表して挨拶した吉田克之君

た。またその後の「思い出スライドショー」では、3年間の思い出を懐かしい写真で振り返り、卒業生も在校生も、それぞれの様々な思いを胸に映像に見入っていました。■そして演目の最後には、在校生と卒業生から構成されるバンドの最後の演奏

会が行われ、再び会場は大いに盛り上がりました。会の終わりの挨拶で、元生徒会長である3年生の吉田君は、「何でも自分次第です。皆さんも将来に向けてがんばってください」と在校生にエールを送りました。■この日を境に、3年生は家庭学習期間に入りましたが、進学受験や就職試験の準備のため、多くの生徒が来校しています。とりわけ就職希望者にとっては厳しい状況が続いています。■

1年生宿泊研修実施する
2月14日から3日間、ひだか少年自然の家で1年生の宿泊研修が行われました。この号の締め切りには結果が間に合わないため、事前に内容を

ご紹介致します。■宿泊研修は、宿泊を伴うということもあり、準備からまとめまでに多大な労力を費やす、1学年では最大の行事です。さらには今年の秋に実施される見学旅行の予行練習ともなる大切な行事でもあります。■担任の松原教諭は「活動はスキーを中心としたものですが、全員の団結力が高まり、自主性が育つような行事になればと願っています。■生徒達にはこの行事を通して色々な事を経験し、それらを少しでも自分の力にして、これからの学校生活に生かして欲しいと思います」と述べています。■厳しいスケジュールの3日間になりますが、例年の1年生と同様に充実した時間を過ごせると思います。次号では、その成果をご紹介いたします。



サブリーダーとして参加

1月10日(水)～12日(金)の3日間、浦幌町が主催する少年リーダー養成講習会が、国立日高少年自然の家で実施されました。■この行事は参加者が寝食を共にして、スキー実習、体験学習、交流会などとおし、町内の小学生がリーダーとしての資質を育くむためのものです。■本校からは例年サブリーダーとして5、6名の生徒が、ボラントニアで参加していますが、今年度は1年生5名が参加しました。勿論リーダーとしての参加は初めてなので、何をして良いのかわからなかったり、小学生の元気の良さに圧倒されながらも、楽しく、充実した3日間を過ごすことができました。■以下では参加した生徒の感想をご紹介します。■小学生と触れ合うことは、普段ほとんど無いので、良い経験になりました。スキーでも小学生と仲良く滑ることができたので、良かったです。いろいろな大変だったけれど、参加して良かったです。(青木 恵) ■スキーは難しかったので、これからは滑ることができるように頑張りたいです。小学生は、思ったよりもしっかりしていたので、驚きました。いろいろ、お手伝いするのを頑張りました。

また行きたいと思います。(東 希美) ■一日目に体験したスノーラフティングが楽しかったです。2日目のスキーは吹雪いていて、大変だったけど、楽しかったです。小学生の女の子たちは元気が良すぎて、私たちは疲れてしまいました。私たちが疲れたので、また行きたいです。(山口くるみ) ■一番楽しかったことは、スキーでした。リーダー役を横田君とペアで頑張りました。小学生のみんなは、転んで痛がったりしていたけれど、楽しそうでした。小学生の女の子達にからかわれて、疲れてしまいました。良い3日間でした。(神垣隆行) ■サブリーダーの仕事で、大変だったのは、スキーで転んだ人を起こすを手伝うことでした。慣れてくると、気持ちも楽になり、楽しく過ごせましたし、得をすることもありました。何より、僕と神垣君が担当した班の男の子達はみんな良い子ばかりだったので、良かったです。(横田雅史) ■この生徒も、自分なりに学んだことが沢山ありました。小学生との交流を通じて、普段の学校生活ではできない様々な経験をさせていただいたことで、より豊かに学校生活を送ることができると思っています。また、機会があればぜひ参加させていただき、リーダーとしての資質を学校行事等にも発揮していきたいと思えます。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

テーブルマナー講座実施する

去る1月30日(火)、3年生を対象としたテーブルマナー講座が、レストフンつらほろ亭を会場に行われました。■参加した生徒達は、まずスタッフの方から食事のマナーに関する基礎的な説明を受け、「マナーとはお互いが気持ちよく食事をするために必要なことです」といった、食事だけではなく、日常生活の様々な場面に共通するマナーの考え方に聞き入っていました。■はじめは普段の食事とは場所も服装も違うためか、ぎこちない雰囲気でしたが、目の前にフルコースの料理が運ばれてくる



度に、生徒達は目を輝かせながら説明された手順にしたがって、おいしく、そして楽しく食事



をしていました。中でも佐藤シエフ特製のデミグラスソースを贅沢に使用したメインディッシュ「ビーフシチュー・パイケース」は大好評で、2時間半の食事が終わる頃には、生徒達はおなかも満ちた様子でした。■また、生徒達が食事中に気づいた「ナイフなどを落としたりするときのマナー」や「途中で席を立つときのマナー」などの疑問点にも、スタッフの方々が明るく丁寧に対応してくださり、やわらかい雰囲気の中、改めて毎日の食事の大切さを学ぶことができました。■末筆になりましたが、このテーブルマナー講座を開催するにあたり、費用の大半を補助してくださった浦幌高校振興会の皆様、毎年ご協力をいただいているレストフンつらほろ亭の皆様、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。(森 教頭)